

令和2年4月16日に三重県多気郡明和町 世古口哲哉町長へ有限会社石堂 取締役石堂貴遵、橋本麻湖がウィルス強力除菌剤PAV07を30箱（45L分）を寄贈しました。

三重県多気郡明和町は有限会社石堂 橋本麻湖の生まれた故郷であります。

就職を機に故郷を離れ、現在は名古屋市内で美容師としてサロン運営する傍ら、有限会社石堂にて管理職として従事しています。

有限会社石堂は、一般社団法人日本中国商会の副理事を拝命していたことで、コロナ禍に入り輸出入事業の中でマスクを中国に緊急物資として取り扱うことになりました。3月に入りアルコール、次亜塩素酸水の需要もあり輸出が液体は難しいこともあり、光触媒の除菌剤の開発と製造に取り掛かりました。次第に日本国内のマスクが不足の状況になり、国内産および中国産マスクを取扱うこととなり、4月上旬にウィルス強力除菌剤PAV07が出来上がりました。

ある日いつも明和町を気に掛けている橋本より明和町でコロナ患者が発生した話を聞きました。マスクとPAV07を明和町へ届けたいと思い、明和町役場へ連絡をしてマスクと除菌剤を寄贈したい旨を伝えました。

その後連絡がありマスクは間に合っているが、職員の除菌剤が足りていない。との声を頂き4月16日にウィルス強力除菌剤PAV07を明和町に寄付に至りました。

明和町 背古口哲哉町長から感謝のお言葉

離れていても明和町のことを思っていてくれてありがとうございます。
PAV07を職員の方で使わせていただき、職員用のマスク不足の中大変助かりました。
遠いところからありがとうございました。

